

国際アルツハイマー病協会 第20回国際会議報告

痴呆の発病を 半分に減らせる!!

今年のテーマは、「No time to lose
時間をこれ以上失わないように」。

主催者代表挨拶「ぼけても心は生きています。ぼけても安心して暮らせる社会のためには、世界の理解が進むことが必要。また、戦争、暴力、貧困がなく
なることも大切である」。

ADI議長は、「日本は高齢者が多いので、日本が加齢についてどのように取り組んでいるかこの会議で学ぶことが出来る」と挨拶。

ヨーロッパでも痴呆の症状が出てから診断まで平均3年かかっている、痴



ポスター左から、ちよネット、高齢社会をよくする女性の会・京都、スリーA。三人はちよネット活動メンバー。

呆は、加齢に伴う自然現象だと思われている、等の信じがたい話もありました。

私は、スリーAの痴呆予防教室で対象にしている軽度認知障害(前痴呆)についての講演に絞って発表を聞きました。

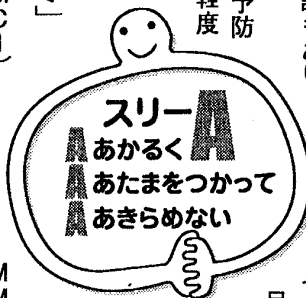
「現状と課題について」

- ・軽度認知機能障害(MCI) (Mild Cognitive Impairment)とは
- ・MMSテストで24点以上・本人に物忘れの自覚がある・痴呆はない
- ・正常と痴呆の間

・MCIの中からどれくらいの人が痴呆に移行するかはわかっていないが、正常人よりはるかに多くの割合の人が痴呆になるといわれている。

・どんな人もいきなり痴呆になるわけではなく、期間の長短はあるが、必ずMCIの時期を通じて痴呆に進む。
 ・このMCIの状態を正確に診断し、治療できれば、痴呆の人を減らせるだろう。

・発病を5年引き延ばせれば、痴呆の人を半分に減らせ、10年引き伸ばせれば3分の1に減らせる。



・今、製薬会社を始め多くの人がこの研究に力を入れている。
 ・様々な効果が調べられたが、まだ確実なものはない。
 ・診断の方法も確実なものはない。
 ・ある薬がいくらかの効果があると、2004年末には薬剤の効果が発表される予定である。

・MCIの中でも趣味のない人は、そうでない人に比べて3倍も痴呆に移行する人が多い。
 ・さまざまな要因をマネジメントすることでアプロイチできるだろう。
 ・このような内容がアメリカや日本の学者から報告されました。

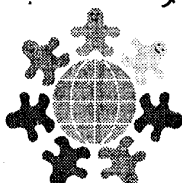
私は、かな拾いテストとMMSテストでMCI対象者を探し出し、やさしさのシャワーや脳活性化を促すゲームを楽しみ、発病を遅らすことが出来る、スリーA方式の痴呆予防教室は、まさにその課題を既に解決しているのだと確信しました。
 (松下)

オーストラリアの 女医さん

スリーA関連ポスターが3枚並んだ国際会議アネックス会場。国際会議三日目の朝、背中に人の気配。振り向くとこやかな外国の女性。あわてて発表抄録の英文チラシを手渡した。

その場で読み始められ、偶然通りかかった若者(通訳ボランティアの府立医大生)を引き止めた。スリーAポスターの説明を聞いて「おう!」と彼女が感動の声をあげたのはMMSテストの教室開始時から卒業時の平均26点上昇のグラフ。判って頂けたのだ! と有りつ丈の資料を手渡すとステキな笑顔が返ってきた。

笑顔の人はオーストラリアの精神科の女医さん。スリーAや痴呆予防ネットのポスターが「国際会議おみやげ」になったかな? 快く通訳をしてくれた彼に感謝!
 (原口)



今後の予定

- ▶ 2月12日(土)、ミニ講演会
東大阪市内「プラティア高齢者ケアセンター花園」、職員研修
- ▶ 2月13日(日)、ミニ講演会
・宇治市城南勤労者福祉会館で、「春の集い」
・京田辺市、田辺中央公民館、「NPO活動促進フォーラム」参加
- ▶ 2月19日(日)、ミニ講演会
「吉井松里町内会&グリーンクラブ」
- ▶ 3月8日&15日、体験教室
木津町 回生舎、「物忘れ予防体験教室」
- ▶ 3月27日(日)、ミニ講演会
宇治市内「ユニチカ退職者の会」
- ▶ 4月2日(土)、物忘れ予防教室
開所式
木津町 回生舎、「自主運営」
- ▶ 4月5日(火)~毎週火曜日、物忘れ予防教室
木津町 回生舎、「自主運営」



活動報告

- ▶ 10月4日、講演
大阪府泉南市第2回物忘れ予防教室「とめさん塾」
- ▶ 10月14日、国際会館に展示物の搬入ポスター貼り付け
- ▶ 10月15日～17日、国際会議にポスター参加
- ▶ 10月20日、ミニ講演会
寝屋川市内の有料老人ホームで職員研修
- ▶ 10月31日、介護保険見直しシンポジウムにパネリスト参加
- ▶ 11月7日、ミニ講演会
城陽市鴻巣会館、「山井報告会」
- ▶ 11月20日、展示広報
木津町中央体育館で、木津町主催「木の津まつり」参加
- ▶ 11月26日、大阪府泉南市、京都府加悦町へ教室見学
- ▶ 12月5日、法人設立臨時総会開催、宇治市内「ゆめりあうじ」で、実技と懇親会
- ▶ 12月20日、ミニ講演会
京都市伏見区のデイサービスセンターで、職員研修
- ▶ 1月19日、ミニ講演会
八幡市福祉会館で、介護者の会

木津教室開設のお知らせ

ちよネットが教室を上げます。長生きはしたいけれど痴呆にだけはなりたくない、家族の痴呆を何とか食い止めたいと願っている人は多くおられます。寄付を頂き、会場や机・椅子を無料で提供していただきましたので冒険ですがやることにしました。

読者の皆様も応援し、見守ってください。お誘いのチラシを同封しますのでご覧ください。(教室担当)

会員募集

痴呆性高齢者の増加が見込まれる中、私たちは、痴呆予防教室の全国津々浦々への拡大を願い、スリーA方式による成果の素晴らしさを広報するために、NPO法人を立ち上げました。この会の趣旨にご賛同くださる方は、ぜひ会員となって、活動を支えてください。詳しくは事務所へお問い合わせください。

(1)正会員 — 入会金 2,000円
年会費 6,000円

(2)賛助会員

個人	入会金 1,000円
	年会費 (一口) 2,400円 一口以上
団体	入会金 3,000円
	年会費 (一口) 24,000円 一口以上

臨時総会報告

臨時総会の議長を

経験させていたただいて

平田 研一

身内だけによる十名足らずの設立総会から僅か半年後の2004年12月5日、50名を超す正・賛助会員と、本法人の活動に興味を持たれた多数の傍聴者の中で臨時総会が開催された。

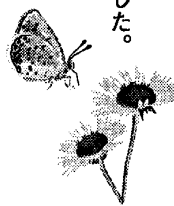
代表の挨拶で始まり、私は議長に選出され、各担当からの報告そして議案審議。手探り・手作りの身内総会、きつと活発な意見や質問があるだろうと質問を想定して準備万端で臨んだが、幸か不幸か杞憂に終わった。歩みだしたばかりで評価も批判もこれからの事だった。

設立総会がはじめの二歩としたら、今回の臨時総会は二歩目、頼りなくても確実に歩みだしている。活動の発展には、情報共有による運営の透明性、そして会

員全員が社会的使命感を持ち法人の趣旨を貫くことこそが、持続可能な活動となる基本だ。代表をはじめとした発言者の言葉は十分役割を果たしたものであった。

議長の大役を仰せられたことに感謝し、NPO法人「ちよネット」の今後に期待し、協力したい。

ありがとうございました。



Column 02

大好きなおばあちゃん

私は、働いている母に代わり祖母に育てられた。きつく叱られたことも無く、とても優しい祖母だった。「人様に迷惑をかけたらあかん、うそをつくと閻魔様に舌を抜かれる」と、人として当たり前のことは厳しく言う、芯の通った明治の女性だった。

子供たちの手も離れた今、優しかった祖母を思い出し、お年寄りに何かできる事はないかな?と考えていた、そんな折、スリーAのミニ講演会に参加し、痴呆が予防できる!と聞きとても驚いた。

いままでは、痴呆になった人を手助けすることしか頭に無かったのに……

痴呆が数年でも予防できるなら、ご本人も、またご家族も明るく楽しく生活できる。これだ!と思い、スリーAの指導者研修会を受講した。そして、ちよネットの運動に参加した。

いよいよ今春、木津に教室が立ち上がる。一人でも多く、笑顔のお年寄りが増えることを願って、初詣に行き、気持ちを新たにしたい。(おばあちゃんっ子)

編集後記

教室をポストの数と願いつつ、大海に小石を投げる。

小石は木津教室。波紋が静かに静かに確実に広がるように祈る。福井恵子